

関西広域連合 関西広域観光ルート設定の考え方について

1 ルート設定の前提について

主なターゲット・設定の前提

- 海外観光客(特に東アジア)を中心
- 個人旅行型、周遊型、体験型、長期滞在型、リピート型を目指す。
- テーマとストーリーの設定
 - ・ストーリー性を前面に押し出す(面の設定)。
 - ・テーマとストーリーに基づき、その周遊の仕方の一例として、観光拠点(素材)を結びルートとする。
 - ・拠点は、ひとかたまりの観光地、市、地域とする。

2 テーマ及びストーリーの設定について

(1) トータルテーマの設定

関西広域観光ルート全体を象徴し、内容を表すテーマを設ける。

関西の特徴・強みを前面に出したものとする。

- ・歴史の奥深さや日本文化の発祥・集積

(2) 個別ルート設定に際しての主なキーワードとして

- 古人の道、古の都
- 日本人の心の聖地
- 瀬戸内海と秘境景観
- 世界遺産、世界ジオパーク等
- KANSAIの癒しと健康
- クールKANSAI
- エンターテインメント
- 自然遺産

3 本計画への盛り込み方について

○計画には、関西地域をテーマをもって周遊していただく広域観光ルートを8本程度盛り込む。

その中で、クールKANSAIやエンターテインメント等、今までにないルートも設定していく。

○計画とは別に観光素材をまとめる。

豊富な観光資源がある中で、提案ルートは周遊の仕方のひとつの提案であり、季節や観光客の好みに応じてカスタマイズできるよう観光素材のピックアップを行う。